

2022年 ゴルフ場企業の 経営交代及び 法的整理、 ゴルフ場名称変更

経営交代ゴルフ場数過去最多、 法的整理の負債総額過去最少

本誌姉妹紙『隔日刊ゴルフ特信』では、2022年1年間のゴルフ場企業の法的整理及び経営交代、ゴルフ場名称変更をまとめている。依然コロナ禍も行動規制が緩和されたせいも、経営交代に外資の風が吹き出した。また、法的整理では申請件数はここ数年変わらないものの負債総額が過去最少を記録している。

「経営交代」22年は前年比74.0%増の193コース。増加要因はアコーディアグループの経営交代

22年に経営交代が判明した国内ゴルフ場は、同紙の調べで計193コース（注・交代判明時のデータも含む）となった。

これは22年1月31日にアコーディア・ネクストゴルフグループ（当時169コース）がソフトバンクグループ傘下の米ファンド・フォートレス・インベストメント・グループとなった要因が大きい。21年の23コースに比べ、22年は170コース、739・1%と大幅な増加を記録した。ほぼアコーディアが例年より多くなったという印象だが、過去にも100コース以上の経営交代があった中で、21年はゴルフ場の増加数、増加率とも過去最大となった。

また、シンガポール政府系投資ファンドのGICに売却する基本協定書を締結した西武HDが、売却協定31施設（うちゴルフ場は10コース）のうち22年内に6コース

（内会員制は北海道CC大沼コース、岩手沼宮内CCの2コース）を売却する一方で、売却した6コースの運営を受託している。コロナ禍で経営交代の案件数は少なかったものの、アコーディアの売却で推定4000億円が動いたと言われたことから、ゴルフ場売買で動いた金額はバブル崩壊以降、おそらく最多になったとみられる。

経営交代の方法としては、ほとんどがゴルフ場事業会社の株式売却か、ゴルフ場事業の新設分割会社の株式売買による「株式の移動」によるものだが、西武HDは固定資産の信託受益権を譲渡して行っている。

ゴルフ場の新母体でみると、アコーディア・ゴルフの親会社とな

ったソフトバンク傘下フォートレスが169コースで最大、次に西武HDから12月に6コースを取得したシンガポール政府系投資ファンドのGIC、以下、バンリユーゴルフとノザワールドが各2コース、PGM、アコーディアなどが各1コースで、韓国系とみられる新母体も増えつつある。最近、売買が成立したゴルフ場は以前に比べて売買額が数倍に跳ね上がっていると売買市場では言われており、ゴルフ場売買案件が少ないだけに、より韓国系の売買意欲が上がっているようだ。

アコーディア以外で売買が成立した24コースのゴルフ場所在別では、北海道が6カ所最多、次に広島3カ所、岩手、茨城、兵庫各

表① 経年別経営交代コース数・外資系絡みの交代コース数

—ゴルフ特信調べ—

西暦	コース総数	増減数	増減率%	内会員制	比率%	内法整理	比率%	外資絡み	比率%	内外資へ	比率%	内韓国へ	比率%
22年	193	170	739.1	187	96.9			9	4.7	9	4.7	3	1.6
21年	23	-4	-14.8	17	73.9	2	8.7	2	8.7	2	8.7	1	4.3
20年	27	-32	-54.2	27	100.0	1	3.7	9	33.3	5	18.5	1	3.7
19年	59	27	84.4	57	96.6			42	71.2	42	71.2		
18年	32	-137	-81.1	27	84.4	5	15.6	3	9.4	3	9.4	2	6.3
17年	169	137	382.9	164	97.0	6	3.6	140	82.8	137	81.1	6	3.6
16年	35	-19	-35.2	33	94.3	8	22.9	3	8.6	1	2.9	1	2.9
15年	54	14	35.0	46	85.2	10	18.5	5	9.3	3	5.6	0	0.0
14年	40	-26	-39.4	33	82.5	6	15.0	7	17.5	3	7.5	1	2.5
13年	66	8	13.8	58	87.9	29	43.9	7	10.6	4	6.1	1	1.5
12年	58	-117	-66.9	46	79.3	18	31.0	6	10.3	0	0.0	0	0.0
11年	175	123	236.5	145	82.9	12	6.9	130	74.3	2	1.1	1	0.6
10年	52	-29	-35.8	43	82.7	21	40.4	6	11.5	10	19.2	4	7.7
9年	81	-8	-9.0	66	81.5	14	17.3	10	12.3	16	19.8	5	6.2
8年	89	-42	-32.1	79	88.8	28	31.5	7	7.9	26	29.2	12	13.5
7年	131	4	3.1	111	84.7	52	39.7	6	4.6	50	38.2	8	6.1
6年	127	-43	-25.3	111	87.4	48	37.8	7	5.5	30	23.6	3	2.4
5年	170	26	18.1	147	86.5	95	55.9	3	1.8	41	24.1	8	4.7
4年	144	-23	-13.8	128	88.9	98	68.1	7	4.9	60	41.7	10	6.9
3年	167	104	165.1	162	97.0	132	79.0	0	0.0	91	54.5	1	0.6
2年	63	-25	-28.4							8	12.7	0	0.0
1年	88	67	319.0							45	51.1	0	0.0
2000年	21	18	600.0							1	4.8	0	0.0

注・コース数は延べコース数、「内」はコース数の内数、「会員制」はSPを「内外資へ」は外資から外資含む
14年、15年、20年データは一部修正（メガソーラーへの転用削除等）

表② 2022年経営交代判明のゴルフ場

—ゴルフ特信調べ—

所在地	ゴルフ場名	H数	旧・経営、母体等	新・経営、母体等	取得方法	号数
	アコーディア・ネクストの169コース		MBKパートナーズ	ソフトバンク傘下フォートレス	株式売買が22年1月31日完了	6759
茨城	サンクチュアリ霞南GC	18	サンクチュアアセットマネージメント	西山ホールディングス	株式譲渡で、新名称=霞南GC	6754
兵庫	ぜんCC	18	新業	バンリユゴルフ	22年2月に株式取得で	6759
茨城	金砂郷CC	18	熱海ゴルフ関連	代表者が金重汎氏に交代	22年3月に増資等で	6780
広島	広島東映CC	18	東映	葵会グループ	経営母体交代。22年2月に運営交代	6782
山口	徳山CC	27	バンリユゴルフ	徳山ゴルフ合同会社	22年4月1日に吸収分割方式で譲渡	6782
北海道	函館シーサイドCC	18	朝日コーポレーション	ノザワワールド	22年2月に株式取得で	6791
千葉	神崎CC	18	日軽グループ	ノザワワールド	株式取得し22年4月1日名称変更。新名称=赤とんぼCC成田空港C	6795
栃木	矢板CC	27	アルファクラブグループ	須山液化ガスグループ	新設分割でM&A。22年4月27日日本社移転	6804
福岡	鷹羽ロイヤルCC	18	JGMグループ	東京の不動産会社系が経営参画か	詳細は未公表	6900
鹿児島	鹿児島ガーデンGC 松元コース	18	インフラテック株	株アコーディア・ゴルフ	新設の株鹿児島ガーデンゴルフ倶楽部の株式取得	6826
群馬	THE RAYSUM	18	株レーサム	株RightNow	経営は株アセット・ホールディングスのまま	6829
広島	仙養ヶ原GC	18	個人事業主・廃業	株神石高原ティアガルテン	廃業地を再興しP営業。新名称=カントリーパーク仙養	6736
石川	能登CC	27	デリス建築研究所	韓国系ウェイナグループ	株式取得。22年11月	6881
兵庫	加西インターCC	18	舞鶴CC（グリーンメンバーズ）グループ	韓国SGグループ	22年11月から	6903
静岡	足柄森林CC	18	株ピラミッド48%、株主婦と生活社25%他	PGM	株式取得。22年12月1日から。新名称=PGM御殿場C	6852、6870
北海道	北海道CC大沼コース	18	西武ホールディングス	シンガポール政府投資公社の子会社・Reco Sky Private Limited	22年12月1日に固定資産（信託受益権）を譲渡。運営は受託	6816、6876
北海道	富良野Gコース	36	西武ホールディングス	シンガポール政府投資公社の子会社・Reco Sky Private Limited	22年12月1日に固定資産（信託受益権）を譲渡。運営は受託	6816、6876
北海道	女満別Gコース	18	西武ホールディングス	シンガポール政府投資公社の子会社・Reco Sky Private Limited	22年12月1日に固定資産（信託受益権）を譲渡。運営は受託	6816、6876
北海道	上士幌G場	36	西武ホールディングス	シンガポール政府投資公社の子会社・Reco Sky Private Limited	22年12月1日に固定資産（信託受益権）を譲渡。運営は受託	6816、6876
岩手	岩手沼宮内CC	36	西武ホールディングス	シンガポール政府投資公社の子会社・Reco Sky Private Limited	22年12月1日に固定資産（信託受益権）を譲渡。運営は受託	6816、6876

岩手	雫石G場	36	西武ホールディングス	シンガポール政府投資公社の子会社・Reco Sky Private Limited	22年12月1日に固定資産（信託受益権）を譲渡。運営は受託	6816、6876
北海道	オホーツクCC	18	地元系	恵庭HDグループ	株式取得。22年12月	6876
長崎	五島CC	18	五島市も一部出資の地元	JIAの筆頭株主の株式会社ホールディングスが親会社に	資本金減資と第三者割当増資。22年12月	6900
広島	マーメイド福山GC	18	シキボウ	バンリュウゴルフ	22年12月15日株式取得。新名称=福山東GC	6875
滋賀	竜王Gコース	18	西武ホールディングス	シンガポール政府投資公社の子会社・Reco Sky Private Limited	23年2月1日に固定資産（信託受益権）を譲渡。運営は受託	6899
千葉	大原・御宿Gコース	18	西武ホールディングス	シンガポール政府投資公社の子会社・Reco Sky Private Limited	23年2月1日に固定資産（信託受益権）を譲渡。運営は受託	6899
京都	関西CC	18	東急不動産	リソルグループ	株式取得。23年2月から母体交代	6887
兵庫	三木よかわCC	27	東急不動産	リソルグループ	株式取得。23年2月から母体交代	6887
静岡	小田急西富士GC	18	小田急電鉄	アコーディア・ゴルフ	新設分割で23年2月28日に譲渡	6869
和歌山	有田東急GC	18	東急不動産	リソルグループ	株式取得。23年3月から母体交代。新名称=有田リソルGC	6887
長野	望月東急GC	18	東急不動産	リソルグループ	株式取得。23年3月から母体交代。新名称=望月リソルGC	6887
群馬	熨恋高原G場	18	西武ホールディングス	シンガポール政府投資公社の子会社・Reco Sky Private Limited	23年3月末までに固定資産（信託受益権）を譲渡予定。運営は受託	6816
宮崎	日南中間Gコース	18	西武ホールディングス	シンガポール政府投資公社の子会社・Reco Sky Private Limited	23年3月末までに固定資産（信託受益権）を譲渡予定。運営は受託	6816

注・「号数」はゴルフ特信の掲載号数、グループ内再編やメガソーラー事業等への転換でのゴルフ場の株式取得・施設取得等は除く

2カ所などとなった。22年は、ゴルフ場保有数上位の「アコーディア・PGM、西武、東急不動産」のゴルフ場が動いたことから、グループ別の保有数のランキングにも変動が生じている。22年12月末現在、グループゴルフ場保有数ランキング（コース数基準）はアコーディア170コース、PGM146コース、3位は市川ゴルフ

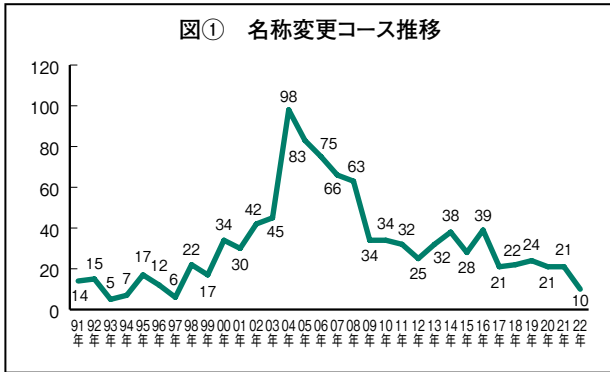
興業グループ30コースで、25コースの東急不動産が4位、23コースの西武が5位となるが、23年3月末までに上位ランクで異動予定があり、ゴルフ場数や順位も変わるものと思われる。経営交代でユニークなケースを一つ。本誌ではこれまで、経済産業省（中小企業庁）の「事業再構築補助金」を活用した中小企業等のゴルフ事業進出を紹介してきた。事業内容は大半がシミュレーションゴルフを設置したインドアゴルフが主流であるが、補助金を使って過去に廃業したゴルフ場の再興を実現させた。21年11月30日に公表された第3回公募結果で、DX化によるゴルフ場再建並びに神石高原ティアガルテンの総合リゾート化計画を掲げ採択を受けた、㈱神石高原ティアガルテン（河相道夫代表取締役、広島県神石郡神石高原町近田甲1766）が進めているものだ。同社はゴルフ場隣接地でキャンプ場・神石高原ティアガルテン（神石高原町上豊松72の8、☎0847・82・2823）を運営しており、20年6月に閉鎖・廃業した仙養ヶ原ゴルフクラブを再興し、昨

年10月3日にパブリックの「カントリーパーク仙養」（18ホール、広島県神石郡神石高原町近田835、☎0847・89・0022、<https://jinsekikogen.com/countryparksenyo/>）として再オープンしている。一時原野化したゴルフ場跡地を整備し始めたのは昨年春から。事業費の3分の2の補助金を受けたことから、スマホやICカードホルダーを活用した自動チェックインや自動精算機、セルフオーダーシステム、タブレット貸与でのGPSカートカピの採用などで省力化し、より経営面のハードルを下げたとしている。カントリーパーク仙養のような廃業したゴルフ場の再興はレアケースといえるが、同ゴルフ場が取り組んでいる省力運営については、既存のゴルフ場にとってモデルケースとなりそうだ。

【名称変更】前年比11コース減の10コースに

ゴルフ場名変更は、本紙調べによる判明分で2022年は10コースとなり、前年より11コースの減少となった。ゴルフ場の名称変更は、経営交

図① 名称変更コース推移



代の増加で2004(平成16)年の98コースがピークとなり、08年に63コースがあった以外は30コース前後で推移していた。また、16年に39コースと増えた後は20コース強で推移し、一昨年の19年は24コース、20年と21年は21コースで続いていた。

22年に名称変更した10コースの内、名称変更の最大要因は7コースの経営交代で、7割を占めた。ここ数年の名称変更は本紙が集計した速報時で経営交代要因が16年

44%、17年55%、18年86%、19年75%、20年43%、21年62%と推移、数は少ないながらもやはり経営や運営面の交代が主要因となった。

サンクチュアリ霞南GCが西山ホールディングスのグループ入りし、21年1月に「霞南ゴルフ倶楽部」(18H、茨城)に変更。開場時は利根GCだった。

神崎CCがノザワワールドグループに経営交代し、パブリックに運営転換するとともに21年4月に「赤とんぼカントリークラブ成田空港コース」(同、千葉)に変更した。

足柄森林CCはPGMが新設分割の方法で承継し設立した足柄ゴルフ(株)の全株式を取得し「PGM御殿場カントリークラブ」(同、静岡)に変更した。

パブリックのマーメイド福山GCはバンリユーゴルフが取得して「福山東ゴルフクラブ」(同、広島)に変更した。

賃貸料のトラブルもあり21年秋からクローズ中の安八カントリークラブ(9H、岐阜県安八郡安八町)だが、その後運営事業者が自己破産した。そして、安八町から運営事業者の指定を受けた地元

竹内建設(株) (竹内正明) 代表取締役 安八町大森 441、☎ 0584・64・2371) が「安八(あんばち)パブリックゴルフクラブ」に名称を変更して22年10月下旬にも再オープンする旨表明したもの、オープンしないまま年を越した。

同建設に改めて再開場の予定について取材すると「準備を進めていますが未定です」と、まだ営業再

表③ 2022年ゴルフ場名称変更一覧

県名	新コース名	旧コース名	年	月	変更理由等
北海道	安平ゴルフ倶楽部	セベズヒルGC	21	春	運営委託解消で
岡山	Blue Resort ランドマークゴルフ倶楽部	ランドマークGC	21	1	(株)ブルーキャピタルマネジメント系に経営交代で
茨城	霞南ゴルフ倶楽部	サンクチュアリ霞南GC	22	1	株式譲渡で西山ホールディングスのグループ入り。会員の権利等も承継
群馬	エースゴルフ場藤岡パブリックコース	エースGC藤岡コース	22	1	会員制を解消し完全セルフのパブリック運営に
福岡	SUNGOLF&RESORTS WAKAMIYA C	若宮GC	22	4	2015年11月に経営交代。従来からサンゴルフをサブの名称に使っていたが一本化
千葉	赤とんぼカントリークラブ成田空港コース	神崎CC	22	4	ノザワワールドグループに経営交代。パブリックに運営転換し名称変更
神奈川	オリムピックナショナルGCサカワコース	リバーサカワGC	22	4	リニューアルする計画で新名称にて会員募集
群馬	サンコーカントリークラブ	サンコー72CC	22	9	開場50周年を機に9月15日をもって当初のクラブ名に戻す
岐阜	安八(あんばち)パブリックゴルフクラブ	安八CC	22	10	運営事業者に選定された竹内建設が新名称で営業再開見込む
広島	カントリーパーク仙養	仙養ヶ原GC	22	10	隣接地でキャンプ場を運営する(株)神石高原ティアガルテンが事業再構築補助金により20年6月に閉鎖・廃業した仙養ヶ原GCを再興
広島	福山東ゴルフクラブ	マーメイド福山GC	22	12	シキボウからバンリユーゴルフが株式取得で
静岡	PGM御殿場カントリークラブ	足柄森林CC	22	12	PGMが新設分割の方法で承継し設立される足柄ゴルフ(株)の全株式を取得で
長野	シャトレゼカントリークラブ小海	小海リェックス・CC	23	2	シャトレゼグループとしてリブランディング
和歌山	有田リソルゴルフクラブ	有田東急GC	23	3	東急不動産からリソルグループに経営母体交代で
長野	望月リソルゴルフクラブ	望月東急GC	23	3	東急不動産からリソルグループに経営母体交代で
石川	小松ゴルフ倶楽部一パブリックコース	小松P	23	3	クラブハウスリニューアルを機に
群馬	THE CLUB golf village	THE RAYSUM	23	5	“ゴルフを中心としたヴィレッジ”にする計画で
岐阜	麗澤瑞浪ゴルフ倶楽部	瑞浪高原GC			時期未定も名称変更を表明

開の日程が定まっていなかった。そして、ゴルフ場名の表記については「こだわっていないので、漢字(安八)、平仮名(あんばち)どちらでも構いません」という。

経営交代でも書いたが、廃業して一時原野化した仙養ヶ原CC(広島)は「カントリーパーク仙養」として再興され、22年10月から営業を再開している。

22年名称変更10コース(21年は21コース)の要因別では、経営交代7コース(13コース)の他は法的整理関係1コース(2コース)、外資系関与0コースだった。

ところで、本誌が毎年2月ごろに実施している全国のゴルフ場に向けたアンケート調査で、群馬県藤岡市にあるエースGC藤岡コースの名称が「エースゴルフ場藤岡パブリックコース」(18H)に変更していたことが判明した。

エースゴルフ場藤岡パブリックコースを運営する㈱エースゴルフ(川島敏夫会長、川島麗奈社長、東京都新宿区)によれば、ゴルフ場を変更したのは22年1月とし、21年末に会員制倶楽部を解消しパブリックコースとして新たに運営を

スタートすることから、パブリックを入れた新ゴルフ場名にしたという。営業については、荷物の積み降ろしはプレーヤー自身で行い、プレーはナビ付きゴルフカート利用のセルフという。

23年は小海リエックスCCがシャトレゼグループのブランディング戦略として2月1日に「シャトレゼカントリークラブ小海」(18H、長野)に名称変更して、今シーズンのゴルフ予約受付を開始した。3月1日にリソルグループ入りする2コースもリソル名を入れて新運営に入ることになっている。

その他、瑞浪高原GC(27H、岐阜県瑞浪市)が「麗澤瑞浪(れいたくみずなみ)ゴルフ倶楽部」にゴルフ場名変更を表明しているのが本誌調べでわかったが、時期未定ということでゴルフ場名称変更コースにカウントしていない。

「法的整理」申請は民事再生法4件、破産3件。4年振り件数増加も、負債総額は58億円でパブル崩壊以降初の100億円割れ

2022年の法的整理の申請状

況をみると、1月に2件(2社)、7月に1件(1社)、8月に3件(3社)、12月に1件(1社)あり、年間トータルでは7件(7社)だった。

前年のゴルフ場企業法的整理申請3件(3社)に比べると、22年は4件(4社)の増加。4年振りにプラスに転じた。一桁申請は4年連続している。コース数は既設7コース(前年比4コース増)、建設中・認可未着工0コース(増減なし)で、負債総額は58億円(49億円減)。1件当たりの負債額は8億円となり、前年よりも28億円減っている。件数はここ2〜3年と余り変わらないのに、負債総額ではパブル崩壊以降初めてとなる100億円割れを記録した。

法的整理を申請した企業7件を申請日順で見ると、播磨自然高原船坂GC(兵庫)運営の㈱船坂ゴルフ場(1月14日、破産)、安八CC(岐阜)の旧経営会社である長良川㈱(1月20日、自己破産)、白浜GC(和歌山)経営の白浜開発㈱(7月25日、民事再生法)、秋葉GC(愛知)経営の㈱秋葉ゴルフクラブ(8月22日、民事再生法)、茶白山GCブナの嶺コース(長野)

経営の㈱ブナの嶺ゴルフ倶楽部(同、同)、茶白山GC茶白山コース(同)経営の㈱茶白山ゴルフ倶楽部、植木CC(熊本)経営の有限会社友宝開発(12月21日、破産)。

民事再生法を申請した㈱秋葉ゴルフクラブ、㈱ブナの嶺ゴルフ倶楽部、㈱茶白山ゴルフ倶楽部の3社は同じグループ(一季出版㈱)は、インターファイヴグループと(呼称)で、申請から半年弱の23年2月15日に再生法の認可を受けた。

再生計画によると、㈱秋葉ゴルフクラブと㈱ブナの嶺ゴルフ倶楽部は、それぞれのゴルフ場を自主再建していく方針。㈱茶白山ゴルフ倶楽部は、令和3年8月以降クローズしているゴルフ場(茶白山コース)を太陽光発電等の施設として利用してもらえ第三者に借地権譲渡し、その譲渡対価をもって債権者に弁済する清算型再生を行うとしている。

一方の破産した会社の動向はというと、㈱船坂ゴルフ場は破産管財人が債権者向けの情報提供のために開設したホームページで「破産手続廃止のお知らせ(令和4年12月6日)」と題して「令和4年12月6日、大阪地方裁判所第6民事

部において、破産手続き廃止決定がされました。本件につきましては、残念ながら配当に及びませんでした」と報告している。運営していた播磨自然高原船坂GCは21年10月1日に閉鎖しており、運営会社も破産廃止となつてしまつたが、同ホームページには「破産事件の手続きとして行うものではない」との断りを入れつつ、ゴルフ場会員債権者に対して「会員が希望される場合、佐用スターリゾートGC（兵庫、船坂とは同じ倉商SKグループ）のメンバー並みの待遇を受けられる運用をされているとのことです」と付記している。

なお、バブル崩壊以降の法的整理状況は、22年12月末で件数809件（既設991コース、建設・認可48コース）、負債総額16兆9931億円となつた。ちなみに、表④は、バブル崩壊以降の法的整理をまとめてはいるが、ゴルフ場開発の認可を取得了した段階（建設中、認可未着工）で法的整理を申請した4件を除いて作成しているため、数値が異なっている。

表④ バブル経済崩壊以降の法的整理状況

	和議			民事再生			会社更生			破産			特別清算			会社整理			計			負債総額 (億円)	
	件数	既設	建設	件数	既設	建設	件数	既設	建設	件数	既設	建設	件数	既設	建設	件数	既設	建設	件数	既設	建設		
1990 (平成2)																							
1991 (平成3)	1		1							1		1								2		2	4,066
1992 (平成4)	1	1								1	1						1	1		3	3		1,626
1993 (平成5)							6	5	3											6	5	3	4,304
1994 (平成6)										3	2	1								3	2	1	237
1995 (平成7)	1	1								1	1		1	1			3	3		6	6		2,120
1996 (平成8)	2	1	1							2	1	1								4	2	2	1,216
1997 (平成9)	6	28	2				2	1	1	1		1								9	29	4	4,501
1998 (平成10)	4	6					2	3		5	5	2								11	14	2	5,094
1999 (平成11)	8	8	1				4	4		7	4	4	7	3	4	1	1			27	20	9	6,416
2000 (平成12)				17	18		2	3		5	5	3	1		1					25	26	4	12,076
2001 (平成13)				42	49		6	7		5	5	1	2	2						55	63	1	14,397
2002 (平成14)				66	75		23	50	1	5	2	3	3	3						97	130	4	30,024
2003 (平成15)				67	116	1	5	9		6	5	1	1	2						79	132	2	19,597
2004 (平成16)				56	65	1	15	25	1	5	3	2	6	17						82	110	4	19,239
2005 (平成17)				56	65	1	6	7		9	8	3								71	80	4	14,004
2006 (平成18)				44	51	1				6	5	1	2	3						52	59	2	5,781
2007 (平成19)				34	41		4	4		3	3									41	48		6,199
2008 (平成20)				22	24		4	4		3	3		1	1						30	32		3,949
2009 (平成21)				18	19		2	3		3	4		3	3						26	29		2,656
2010 (平成22)				21	22		3	3					2	2						26	27		1,485
2011 (平成23)				18	19		1	1		5	5		2	2						26	27		2,085
2012 (平成24)				19	37					6	6		1	1						26	44		3,110
2013 (平成25)				5	5					5	5									10	10		672
2014 (平成26)				8	9					4	4		1	1						13	14		525
2015 (平成27)				10	12					6	6		1	1						17	19		1,111
2016 (平成28)				7	7		1	1		4	4		4	4						16	16		744
2017 (平成29)				6	6								3	3						9	9		329
2018 (平成30)				8	10					5	5									13	15		539
2019 (平成31・令和元)				6	6															6	6		547
2020 (令和2)				3	3								1	1						4	4		227
2021 (令和3)				2	2								1	1						3	3		107
2022 (令和4)				4	4					3	3									7	7		58
計	23	45	5	539	665	4	86	130	6	106	92	24	43	51	5	5	5	0	805	991	44	169,054	

注：1991（H3）年から2022（R4）年までの1次申請分を集計、民事再生法を申請した建設中・認可未着工ゴルフ場計画のみの企業4件・4コースはカウントから外している、負債総額は億円未満切り捨て

表⑤ 2022年法的整理企業一覧

月日	会社名	態様	負債	預託金	関連コース
01.14	株船坂ゴルフ場	破産→廃止04.12.06	16		★播磨自然高原船坂GC (M、兵庫)
01.20	長良川株	自己破産	2		★安八CC (M、岐阜)
07.25	白浜開発株	民事再生法	9.57		★白浜GC (M、和歌山)
08.22	株秋葉ゴルフクラブ	民事再生法→認可05.02.15	16.404		★秋葉GC (M、愛知)
08.22	株ブナの嶺ゴルフ倶楽部	民事再生法→認可05.02.15	0.430		★茶臼山GCブナの嶺コース (M、長野)
08.22	株茶臼山ゴルフ倶楽部	民事再生法→認可05.02.15	2.077		★茶臼山GC茶臼山コース (M、長野)
12.21	有限会社友宝開発	破産	12.3		★植木CC (M、熊本)

★は当該企業が施設所有・経営ないし会員権を発行しているゴルフ場、負債額等の単位は億円、関連コースのMは会員制ゴルフ場